

みんなの力で ヘリパッド建設を やめさせよう!



ノグチゲラ



ヤンバルクイナ

いのちの森壊さないで

沖縄県東村高江は県北部にあります。そこにはやんばるの森がひろがり、世界的にも珍しい希少動物(ノグチゲラ、ヤンバルクイナなど)が棲んでいます。

世界自然遺産、国立公園の候補地にもなっている自然豊かなやんばるの森に、米海兵隊のヘリパッドはいりません。



米海兵隊は最新鋭輸送機(写真)オスプレイの沖縄配備を2012年から始める計画です。オスプレイはアメリカ本土やアフガニスタンで墜落事故を起こしています。

住民は、爆音と墜落の危険にされされ、安心して暮らせません。

政府・防衛省は工事を 中止して、住民と話し合いを

ヘリパッドの建設計画は、1996年のSACO合意にもとづいてすすめられているもので、辺野古の新基地建設と一体のものです。

くらしと自然環境を守るため、住民が、国に説明と話し合いを求めてきました。住民を「通行妨害」しているとして裁判にかけてまで、防衛省は工事を強行しています。

私たちは、政府・防衛省に対して、工事を中止して、住民と話し合うことを求めています。



H 米軍ヘリコプター着陸帯の建設予定地

署名にご協力ください



安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-11-13
TEL 03-3264-4764 Eメール:anpohaiki@nifty.com

沖縄・高江でのヘリパッド工事中止を求める要請

内閣総理大臣 菅 直人 様
防衛大臣 北澤俊美 様

2011年 月

【要請趣旨】

政府・防衛省、沖縄防衛局は、沖縄県東村高江で米軍ヘリパッド建設のための工事をすすめてきました。

これは、地元住民がヘリパッド建設に反対している中で強行されたものであり、断じて認めることはできません。住民は、高江の集落を取り囲むように6つのヘリパッドが建設されることに強い不安を抱き、ヘリ墜落などへの危険を感じています。

防衛省は現在、ヘリパッド建設に反対する住民に対して「通行妨害禁止を求める」裁判を起しており、裁判所が両者の話し合いを勧告しているもとでの強行です。2月までの工事では、抗議する住民を無視した暴挙が繰り返され、地元では当局に対する不信と怒りが広がっています。

防衛省は、工事について沖縄県当局の理解が得られているとして、工事の強行を正当化しています。しかし、2011年2月24日の沖縄県議会での質問に対して、又吉進知事公室長は、「県は了解を求められる立場にない」「地域住民の生活や当該地域の自然環境に十分配慮し、安全に万全を期すよう申し入れた」と答弁しています。

ヘリパッド建設は自然を破壊する点でも問題です。国際自然保護連合やWWFジャパンなどの団体も、「やんばるの森の自然環境と野生生物は、世界自然遺産の価値がある」としてヘリパッドの建設中止を強く求めています。

住民の平穏な生活と自然保護のために、下記事項の実現を強く求めます。

【請願項目】

- 防衛省は、米軍ヘリパッド建設工事を中止すること。

氏 名	住 所

取り扱い団体